



同業者をモデルに頭皮診断。モニター画面（右）に若さを保った頭皮が映し出された。山田町で

理容など業界のプロ講師に

お年寄りたちに
若返り術を伝授

山田 災害公営住宅の20人

災害公営住宅に閉じこもりがちなお年寄りに若返ってもらおうと、山田町のまちなか

交流センターで3日、理美容など業界のプロたちが若さを取り戻す方法を伝授した。お年寄りたちは「なおざりにすると、かえって老けてしまうこと反省し、熱心に耳を傾けた。

東日本大震災の被災地で地域貢献活動を続ける県理容生活衛生同業組合（湊正美理事長）が宮古地区の理容、美容業、飲食業、中華料理各組合の協力を得て開いた。会場近くの災害公営住宅「山田中央団地」からお年寄り約20人が参加した。「正しいシャンプー

の仕方」では理容組合宮古支部の黒田豊さんから講師となり、「シャンプーは手のひらで伸ばしてから泡立てる」などと説明。髪が半乾きの状態で就寝すると、頭を動かした時にかえって髪を傷めてしまうため、しっかり

と乾かすようアドバイスした。また、頭皮診断もあり、モニター画面にまばらな髪の毛が映し出されると、本人からため息が漏れた。「5歳若返りメイク」や本格中華料理、おいしい太巻き作り方の講

習もあり、メモを取るお年寄りの姿も見られた。横田澄子さん(77)は「団地に閉じこもってしまうと老けてしまう。いいことを学びました」と話し、実行に移してみるとい

【鬼山親芳】